

内閣参甲第一八七号

昭和二十三年十一月三十日

内閣總理大臣 吉 田 茂

参議院議長 松 平 恒 雄 殿

参議院議員板野勝次君提出主食配給に関する質問に対し、別紙答弁書を送付する。

参議院議員板野勝次君提出の主食配給に関する質問に対する答弁書

一、昭和二十四米穀年度における主要食糧の需給推算においては年間を通じまして穀類以外の甘藷、馬鈴薯及諸加工品で配給されるものは通三、二八万石であつて年間需要量の六%強であります。

而して甘藷及馬鈴薯を右の如く主食として配給することに依つて需給計画が成立つたのでありますとして諸類を主食として扱うことは戦時戦後を通じて継続せられて來た所でありますとして諸類を米に換算して配給食糧の中に含め所謂二合七匁の配給となるのであります。決して欺瞞ではありません。

なお配給基準量に関する政府の正式発表は米換算の重量建でありますとして容量制は一般にわかり易いよう便宜使用してあるのであります。

二、政府は十二月中に二十日分の米を配給すると云ふ約束は致して居りません。

なお主食の配給が政治的に左右されると云うことは絶対にありません。

三、年間月別の米の配給は可及的平均化する方針の下に各種の施策は致して居るのであります。が昭和二十三年末の実收高も未定であり且つ不足補填の大宗である食糧輸入の期別種類別見透の確定して居りますな爲米の月別配給率を明示する時期に到つて居りませんが本年産米の補正割当の結果から致しますならば年間全國を平均致しますと國內産米の配給し得る数量は飯用需要量に対して約五五%程度と考えられます。

四、昭和二十三年産米の消費者價格の算定に際しては、先づ米、麦、甘藷各々の政府買入價格（農業バリ

テイ指數に基いて算定した生産者價格)を基礎として、お説の通り、これに集荷人手数料、倉庫保管料、運送費、配給手数料等の諸費用と、早場早掘獎励金、食糧管理局経費、農業調整委員会経費等の諸経費を加算して、別表(一)のような精米、精麦、小麦粉、甘藷等の價格を算出し、更にこれまで不年產米及び甘藷を旧價格で配給することによつて政府に生じた欠損額等を見込んで、各品目間に適當な價格比を保つように、十一月以降明年六月迄に配給される予定の各品目の数量によりプール計算して算定したものであります。(別表(一))

なお、右消費者價格に織込んだ諸経費については慎重に検討を加えたものであつて、この爲に消費者價格が不当に値上りしたとは考えてありません。

プール消費者價格算出表(一九四八年一一月—一九四九年六月)

	算出價格 精米 精麦 小麦粉 甘藷 豆類、とうもろこし粉等	一月—六月 三五五・二九 二八八・九二 一〇・九一五 二九〇・六二 三、一〇〇 三三七・二八 一、八六〇 二七四・六九 一、九八五 豆類 とうもろこし粉 二八六	消費数量 一〇・延 一〇延 一〇延 一〇延 一〇延 一〇延 一〇延 一〇延 一〇延 一〇延 一〇延 一〇延 一〇延 一〇延	プール價格 三五七 三三九 三五七 二七〇

(備考)

(二) 上記の計算に際しては次のものを織りこんでいる。

(1) 一九四八年七月ブールによる差益額 四六八、〇四二、九〇〇円

(2) 二三年産米早喰負担轉嫁額 一、三四五、八六五、六〇〇 (一)

(3) 二三年産早喰甘藷負担轉嫁額 五六七、〇七四、六六七 (二)

(4) 濃粉負担轉嫁額 七三二、七〇四、〇〇〇 (二)

(5) 加工諸類負担轉嫁額 五五九、三六〇、〇〇〇 (二)

(1) — (5) 計 三、七五六、九六一、三六七 (二)

(二) 主食相互間の價格比を精米一〇〇、精麦九五、小麦粉一〇〇、そら豆七〇その他の豆類九五、とうもろこし粉八〇とし、甘藷は現行價格一〇貫当二七〇円据置としてブール計算を行つた。

精米の消費者價格算出表(ブールする前の價格)

項	目	備	考
生産者價格	一六三一、七五	生産者價格(裸一四三八円、包裝代三四円)等級間格差 (一四五〇錢)及び超過供出增加分(一四五円二五錢五 %を見込む)	玄米六〇近當

政 府 經 費

直 接 經 費 一一六、三三

集荷人手數料、特別指定倉庫加算額、倉庫保管料、運送費、金利等

間 接 經 費 三八、九九

食糧管理局、人件費、事務費等

小 計 一五五、三三

獎 劵 金 六三、五五

昭和二十二年度早場早掘獎励金残及び昭和二十三年度早場米獎励金

調 整 金 一二、五四

昭和二十二年産米の最終價格差額追加支拂分

配 紿 經 費 一四三、七六

食糧配給公團マージン

合 計 二、〇一五、九二

精米一〇挺当り 三五五、二九

玄米六〇挺よりの精米出來高 五六、七四挺

二、麥 類

項

目 大 (四五挺) (五二・五挺)

裸麦及小麦
(六〇挺)

備

考

生 產 者 價 格 七〇四、四五

八一七、六六 一、〇七三、八六

生 產 者 價 格、等級價格差及び
超過供出買入增加分

政 府 經 費

特別指定倉庫加算額

直接経費	一五三・〇三	一五七・三四	一六四・九五
間接経費	二二・六六	二六・四四	三五・〇九
小計	一七五・六九	一八三・七八	二〇〇・〇四
獎勵金	五・七八	六・七四	八・九五
合計	一八一・四七	一九〇・五二	二〇八・九九
精製品五〇班当原料代	一一二・一・九六	九二・五六	昭和二十二年度早場早堀獎勵金残
政府事業費	一三〇・〇六	一、四四・五八	集荷業者手数料、保管料、麻袋経費及び金利等食管人件費及事務費
配給経費	一、四四・五八	精麦加工賃政府運送賃等	
精麦一〇班当り	二八八・九二	食糧公團マージン	
小麦粉	五二〇・三三	加重平均歩留九〇・四%	
製品三三班当原料代	五五・〇五	製粉加工費、政府運送費等	
政府事業費	六三・九八	食糧公團マージン	
配給経費	六三九・三六		
計	二九〇・六一		
小麦粉一〇班当			